

日本も元気です！

JICA海外協力隊

SAITAMA

埼玉県

「寺田養蜂園」代表

てらだ あつや
寺田篤哉

現在住居 埼玉県越生町



JICA海外協力隊 派遣内容

- 派遣国 モザンビーク
- 期間 2017年～2019年
- 職種 コミュニティ開発
- 配属先 ザバラ郡経済活動事務所

Background

学生時代に駅伝部でケニア人留学生と生活した経験からアフリカに強い関心を抱いていました。隊員訓練所のある二本松市の養蜂場で働いていたときに協力隊のラジオ番組を聴き協力隊への応募を決意しました。



派遣国での活動



農業普及員として農村を巡回し、養蜂の導入支援や技術指導を行いました。野生ミツバチを近代養蜂箱に移し替えることで、持続的な養蜂が出来るようになりました。また、養蜂家の子どもたちへの教室も開催しました。

協力隊の学びを生かし ミツバチでつばに地域の未来

越生町で「寺田養蜂園」を設立し、特産の梅も栽培する梅農家兼養蜂家として活動

モザンビークから帰国後、越生町に移住し養蜂園を運営しています。梅の受粉にミツバチが欠かせないことから、この地での農業を決意しました。後継者不足の中、私自身も梅農家となり、地域資源を生かした農業に取り組んでいます。2025年度埼玉県はちみつ品評会では最高賞「名誉賞」を受賞しました。



協力隊経験と今のシゴト

海外協力隊の活動は、自分ではなく現地の人が主役だと思っています。帰国後、隊員活動を振り返る中で、任地で出会った農村のリーダーのように、地域と一緒に成長していく立場になりたいと思い、独立を決めました。今は人口1万人の町で農業をしながら、「伝統・文化・コミュニティを守る」という協力隊での学びを生かしています。